

# 独立役員届出書

## 1. 基本情報

|                                                                    |                                                      |         |           |      |
|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|---------|-----------|------|
| 会社名                                                                | シュッピン株式会社                                            |         | コード       | 3179 |
| 提出日                                                                | 2026/6/9                                             | 異動（予定）日 | 2026/6/25 |      |
| 独立役員届出書の提出理由                                                       | 新たに渡辺詢氏および白石卓也氏を独立役員として指定し、定時株主総会に社外役員の選任議案が付議されるため。 |         |           |      |
| <input checked="" type="checkbox"/> 独立役員の資格を満たす者を全て独立役員に指定している（※1） |                                                      |         |           |      |

## 2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

| 番号 | 氏名     | 社外取締役／社外監査役 | 独立役員 | 役員の属性（※2・3） |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |      | 異動内容 | 本人の同意 |
|----|--------|-------------|------|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|------|-------|
|    |        |             |      | a           | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l | 該当なし |      |       |
| 1  | 滝ヶ崎 裕二 | 社外取締役       | ○    |             |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | ○    |      | 有     |
| 2  | 信実 克哉  | 社外取締役       | ○    |             |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | ○    |      | 有     |
| 3  | 渡辺 詢   | 社外取締役       | ○    |             |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | ○    | 新任   | 有     |
| 4  | 白石 卓也  | 社外取締役       | ○    |             |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | ○    | 新任   | 有     |
| 5  | 横山 敬子  | 社外監査役       | ○    |             |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | ○    |      | 有     |
| 6  | 遠藤 直仁  | 社外監査役       | ○    |             |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | ○    |      | 有     |

## 3. 独立役員の属性・選任理由の説明

| 番号 | 該当状況についての説明（※4） | 選任の理由（※5）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  |                 | 滝ヶ崎裕二氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計等に関する専門的な知識及び企業経営に関する幅広い活動経験と豊富な経験を有しております。これらの経験と知見を当社の企業価値向上に活かし、かつ、独立した立場から取締役会の意思決定の妥当性、相当性を確保するための助言・提言をいただける当社のコーポレート・ガバナンス強化に資する人材であると判断したため、社外取締役候補者として選任することといたしました。また、同氏は当社の主要株主、主要な取引先等の出身者等ではないことから、一般株主と利益相反が生じるおそれなく、独立役員としての的確であると判断しております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 2  |                 | 信実克哉氏は、Dodge&Cox及びFidelityManagement&Researchという世界有数の機関投資家において、長期に渡り日本株を含むグローバル企業への長期投資業務に従事してこられました。また、株式会社Andoホールディングスの社外取締役として、投資家視点でのROIC経営に基づく事業ポートフォリオ最適化に向けた変革の推進、及びキャピタルアロケーションを含む財務戦略改善を通じ、本質的なキャッシュフロー創出力向上への助言・監督を担っておられます。これらの経験と知見を当社の企業価値向上に活かし、かつ、独立した立場から取締役会の意思決定の妥当性、相当性を確保するための助言・提言をいただくことにより、当社のコーポレート・ガバナンスを強化することが可能であると判断したため、社外取締役候補者として選任することといたしました。また、同氏は当社の主要株主、主要な取引先等の出身者等ではないことから、一般株主と利益相反が生じるおそれなく、独立役員としての的確であると判断しております。                                                                                                                                  |
| 3  |                 | 渡辺詢氏は、東京大学法科大学院修了後、弁護士登録をされました。法律事務所や事業会社において、企業法務、労働法務、ESG・SDGs法務の経験を積んだ後、2020年より両宮東也法律事務所のパートナー弁護士として、多様な業界の企業にリーガルサービスを提供しておられます。現在は、バリュースコアーズ株式会社、コーセル株式会社の社外取締役（監査等委員）として会社経営に参画する傍ら、第一東京弁護士会では常議員に就いているほか、ESG分野の研究や論文執筆にも注力しておられます。同氏はこれらの弁護士としての豊富な経験と専門知識を有しておられ、主にコンプライアンスの観点から有益なアドバイスがいただけるものと期待し、社外取締役候補者として選任することといたしました。また、同氏は当社の主要株主、主要な取引先等の出身者等ではないことから、一般株主と利益相反が生じるおそれなく、独立役員としての的確であると判断しております。                                                                                                                                                                           |
| 4  |                 | 白石卓也氏は、東京大学大学院工学系研究科を修了後、フューチャースystemコンサルティング株式会社に入社し、PMとして大規模なシステム再構築や業務改革を主導されました。その後、フルデンシャル生命保険株式会社での経営企画やM&Aを経験後、日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社ベイカレントコンサルティングでのパートナー職を歴任されてこられました。2015年からは、株式会社エーソンの執行役員として次世代システム構築や子会社設立を推進され、2018年にはWalmart Japan（合同会社西友）のCIOに就任されてデジタル変革をリードされた後、2020年より味の素株式会社のCEO補佐としてビジネスモデル変革の指揮を執ってこられました。並行して複数の企業で取締役も務めるなど、ITと経営を繋ぐDXのスペシャリストとして活動されており、これらの経験と知見を当社の企業価値向上に活かし、かつ、独立した立場から取締役会の意思決定の妥当性、相当性を確保するための助言・提言をいただける当社のコーポレート・ガバナンス強化に資する人材であると判断したため、社外取締役候補者として選任することといたしました。また、同氏は当社の主要株主、主要な取引先等の出身者等ではないことから、一般株主と利益相反が生じるおそれなく、独立役員としての的確であると判断しております。 |
| 5  |                 | 横山敬子氏は、公認会計士の資格を有し、公認会計士協会内に設置された「組織内・社外会計士調査研究専門委員会」サステナビリティ部会の委員を務めており、会計及びサステナビリティ等に関する専門的な知識及び企業経営に関する幅広い活動経験と豊富な専門知識を有しております。これらの経験と知見を活かし、当社の成長・企業価値向上に貢献することが期待できることから社外監査役候補者としていたしました。なお、同氏は、過去に社外取締役または社外監査役となること以外の方法で会社の経営に関与したことはありませんが、上記の理由により、社外監査役としての職務を適切に遂行できると判断しております。また、同氏は当社の主要株主、主要な取引先等の出身者等ではないことから、一般株主と利益相反が生じるおそれなく、独立役員としての的確であると判断しております。                                                                                                                                                                                                                     |
| 6  |                 | 遠藤直仁氏は、税理士、中小企業診断士の資格を有しており、税務及び会計等に関する専門的な知識及び企業経営に関する幅広い活動経験と豊富な専門知識を有しております。これらの経験と知見を活かし、当社の成長・企業価値向上に貢献することが期待できることから社外監査役としての的確であると判断しております。また、同氏は当社の主要株主、主要な取引先等の出身者等ではないことから、一般株主と利益相反が生じるおそれなく、独立役員としての的確であると判断しております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## 4. 補足説明

|  |
|--|
|  |
|--|

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を満たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f. g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることに留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。